

歴史下華鏡

90回

身近にある土地の

記憶を感じるモノ

薬工ミュージアム

学芸スタッフ 松本 志帆子

薬工ミュージアムの近くには、「二文橋」という橋が架かっている。江ノ口川に架かるその橋は、平成七年三月に完成。高速道路の高知インターから高知市街地へとつながる市道下知三十三号線の一部で、平成九年四月一日に開通した。以前の橋より道幅は三倍ほど広くなり、一文橋を含む下知三十三号線は幹線道路としてなくてはならない存在である。

さて、この一文橋。ずっとその昔は橋を渡するために一文銭が必要だったそうだ。橋のたもとにいるおばあさん(おじいさんという言い伝えもある)に銭一文を支払い渡ったことから「一文橋」と名付けられたと言われている。そのため、橋の欄干には一文銭があしらわれ、また、橋のたもとにある信号機にもさりげなくこの装飾が施されており、思わず探したり数えたりしたくなってしまう。

一文銭のデザインは、架け替えに伴い取り壊された以前の一文橋にも取り入れられていた。その橋の欄干の一部だけは、一文橋西側にある一文橋公園に今も遺されている。



●一文銭があしらわれた現在の一文橋の欄干



●一文橋公園に遺された旧一文橋の欄干の一部(手前)と現在の一文橋

公園の片隅にある欄干。質実剛健、シンブルなデザインが素敵、かっこいい。また、かつての一文橋の南側のたもとにあったお地藏様も一文橋公園近くに移設され、今現在もこの地域に暮らす人々を見守り続けられている。

一文橋も、一文橋公園にある欄干の一部も、お地藏様も、決して史跡にはならないだろう。しかし、この地域の歴史を刻み伝えていく大切なモノたちである。それは、現在は薬工ミュージアムとなっている建物の「薬工倉庫」も同様だ。

気に留めない風景が、知ることにより見え方が変わってくる。こういったモノはどの地域にも、あなたの身近にもたくさんあるだろう。ぜひ探してみてほしい。

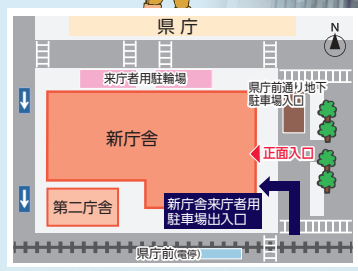
高知市役所 新庁舎を見学しよう!

かねてより建設工事を進めていました新庁舎の完成にあわせて「市民見学会」を開催します! 業務が始まる前の新庁舎を見学してみませんか。

日時 令和元年 **12月28日**(土)
13時 ~ 17時 (最終入場は16時)

場所 高知市役所 新庁舎
(本町5-1-45)
※入場は庁舎東側の正面入口から

申し込み不要。どなたでもご覧いただけます。ぜひ、お越しください!



※新庁舎の駐車場を見学者用に12時半~17時半、開放します。駐車台数には限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

詳しくは、新庁舎建設事務所 ☎823-9065
広聴広報課 ☎823-9446

市長コラム「内和外順」は市長選挙のためお休みします。

広告



私たちは、音を耳で聴き、脳で理解して聞き取ります。

～頭でスッキリ!! ストレスのない聞き取りをあなたへ～

まずはあなたのお悩みをお聞かせ下さい。

MT HA 安心の全国 86 店舗 ネットワーク **新日本補聴器センター 高知店**

試聴・貸出・調整メンテナンスは全て無料で承ります。

高知市北本町2丁目1番12号 駐車場有り(ホテル港屋第1パーキング内)

営業時間 午前9時～午後5時 定休日 日曜・祝日・第4土曜

※木・金曜日留守の場合があるためご連絡下さい。ご相談により、時間外相談・訪問も承ります。

TEL **088-885-5855**

